## ■製品の説明

●この時計には、デモンストレーションの機能が付いています。
・「時刻・カレンダーモード」状態のとき、ボタンⒺを約２～３秒間押し続けると、「曜日」表示から「都市名」に替わり「デモンストレーション」状態になり、各モードの操作説明をします。止めたい場合はボタンⒶⒷⒸⒹⒺいずれかのボタン押してください。
・「メニュー画面」から各モードへ切り替えるとき、ランダムに「アニメーショングラフィック」が表示されるときがありますので、楽しみにしてください。

ボタンの名称とモードの切り替え

| ボタン | モード | 表示 |
|---|---|---|
| ボタンⒶ | 時刻・カレンダーモード | TM |
| ボタンⒷ | アラームモード | AL |
| ボタンⒸ | ストップウオッチモード | SMPT |
| ボタンⒹ | メトロノームモード | BPM |
| ボタンⒺ | ワールドタイムモード | WTM |
| ボタンⒻ | 内部照明の点灯 | EL |

※表示中のモードから他のモードへ切り替えるときは、一度ボタンⒶを押して、一旦メニュー表示に戻してから各モードへ切り替えてください。

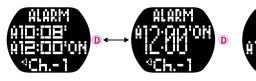
※メニュー表示から各モードのボタンを押すと、オープニングアニメーションから各モードの表示になります。
※メニュー表示のときにSMPT表示が点滅している場合は、ストップウオッチが計測中であることを示しています。

各モード表示のSMALL（小）表示とLARGE（大）表示
・各モード表示のとき、ボタンⒹを押すごとにSMALL表示または、LARGE表示に切り替えることができます。（メトロノーム（BPM）表示は除く。）

１．時刻・カレンダー表示

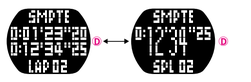
（SMALL表示）　（LARGE表示）

２．アラーム表示




（SMALL表示）　（LARGE表示）

３．ストップウオッチ表示




（SMALL表示）　（LARGE表示）

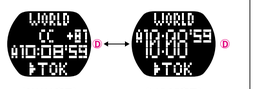
４．メトロノーム（BPM）表示




メトロノーム（BPM）表示のときは、　LARGE表示はありません。

（SMALL表示）

５．ワールドタイム表示




（SMALL表示）　（LARGE表示）

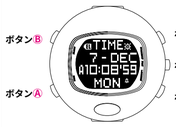
## ■製品仕様

（１）水晶振動数・・・・・・・・・・32,768Hz（Hz＝１秒間の振動数）
（２）精度・・・・・・・・・・・・・平均月差±20秒（気温＋５℃～＋35℃において腕につけた場合）
（３）作動温度範囲・・・・・・・・・－10℃～＋50℃
（４）表示内容
①時刻・カレンダーモード
タイムモード表示
時、分、秒、A/P（12時間制のとき表示）
月、日、曜
（アラーム、報時、オートパネライト、サマータイムマーク）
都市名
②アラームモード
アラームモード表示
時刻（時、分）、A/P（12時間制のとき表示）
アラームセット時刻（時、分）、A/P（12時間制のとき表示）
ON/OFF（セット／解除）、使用チャンネル
（アラーム、報時、オートパネライト、サマータイムマーク）
③ストップウオッチモード
SMPTE表示
リセットのとき　：時刻（時、分）、A/P（12時間制のとき表示）、[0:00'00"00] RESET表示
計測のとき　：時刻（時、分）、A/P（12時間制のとき表示）、計測時間、RUN表示（LARGE表示のとき：SPL表示）
ラップ計測のとき：ラップタイム時間、スプリットタイム時間値、ラップ回数
（LARGE表示のとき：SPL表示）
リコールのとき　：RECALL表示、ラップタイム時間、スプリットタイム時間、ラップ回数
（LARGE表示のとき：SPL表示）
（アラーム、報時、オートパネライト、サマータイムマーク）
④メトロノーム（BPM）モード
BPMモード表示
BEAT表示、STOP表示、グラフィック表示
BPM数値、BEAT数値
（アラーム、報時、オートパネライト、サマータイムマーク）
⑤ワールドタイムモード
WORLD表示
時刻（時、分、秒）、A/P（12時間制のとき表示）
CC表示、国コード番号、都市名
（アラーム、報時、オートパネライト、サマータイムマーク）
（５）表示体・・・・・・・・・・・・ＦＥ型ネマチック液晶
（６）使用電池・・・・・・・・・・・小型リチウム電池　ＳＢ－Ｔ１４
（７）電池寿命・・・・・・・・・・・約２年
（８）電子回路・・・・・・・・・・・・Ｃ-ＭＯＳ-ＬＳＩ　１個　　バイポーラＩＣ　１個

※上記製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

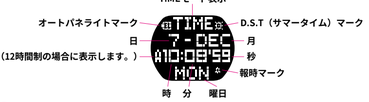
## ■時刻・カレンダーの合わせかた

（１）ボタンの名称とはたらき
・ボタンⒶを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。
※他のモードになっている場合は、一度ボタンⒶを押して、メニュー表示にしてからボタンⒶを押し、「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。




ボタンⒶ：時刻・カレンダーモードへの切り替え
　　メニュー表示への切り替え
ボタンⒷ：時刻・カレンダー修正状態の呼び出し／解除
ボタンⒸ：報時のセット／解除
　　修正箇所の合わせ（進み）
ボタンⒹ：SMALL／LARGE表示の切り替え・修正箇所の選択
ボタンⒺ：現在時刻の都市名呼び出し（スクロール）
　　修正箇所の合わせ（戻り）
ボタンⒻ：内部照明の点灯
　　オートパネライトのセット／解除

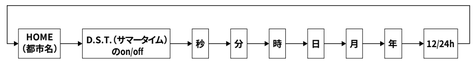
TIMEモード表示




※ボタンⒺを１回押すと、「曜日」表示から「都市名」（現在設定されてある都市名）表示に替わりスクロール（右から左へ）表示し、また、もとの「曜日」表示に戻ります。
※ボタンⒺを約３秒間押し続けると、「曜日」表示から「都市名」に替わり「SPOON専用デモンストレーション画面」状態になり、各モードの操作説明を繰り返しおこないます。止める場合はボタンⒶⒷⒸⒹⒺいずれかのボタン押してください。

（２）時刻・カレンダーの合わせかた
①ボタンⒷを２～３秒間押し続けると、「ADJUST」が点滅し「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
②ボタンⒹを１回押すごとに合わせたいところ（点滅部）を選ぶことができます。
※年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

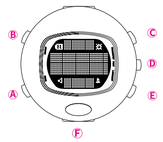
ボタンⒹを押すたびに修正個所が替わります。




③ボタンⒹを押して「秒」点滅状態にし、時報と同時にボタンⒸまたはボタンⒺを押すと「00」に合います。
※秒表示が30～59秒のとき、ボタンⒸまたはボタンⒺを押すと１分繰り上がって「00」に合います。
※時刻合わせは、電話の時報サービス（TEL117）が便利です。
④合わせたいところを選択したあと、ボタンⒸを１回押すごとに点滅している数字・都市名および月が１つずつ進みます。（反対に、ボタンⒺを押すごとに１つずつ戻ります。）
（「秒」「12/24h」「D.S.T」を除く。）
※ボタンⒸまたはボタンⒺを押し続けると、早送りできます。
⑤「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンⒷを１回押して「時刻・カレンダーモード」に戻してください。押し忘れた場合でも２～３分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的に戻ります。

※カレンダーは1999年から2048年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この間、月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンⒸとボタンⒹが同時に押された状態です。その場合は、ⒶⒷⒸⒹⒺFいずれか１つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」に戻してください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

＝全点灯表示＝




（３）アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時ならびに操作確認音のセットと解除
※「時刻・カレンダーモード」でボタンⒸを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンⒸとⒹを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。

報時します。　　報時しません。

報時マーク点灯　　報時マーク消灯

（４）オートパネライトのセットと解除
ボタンⒻを２～３秒間押しつづけるごとにオートパネライトのセット（ マーク点灯）と解除（ マーク消灯）ができます。
※オートパネライトのセット後、約11～12時間後に自動的に解除されます。

## ■アラームの使いかた

・設定した時刻（時・分）で毎日報知する５チャンネルのデイリーアラーム機能付です。
・各チャンネルは、アラームのON/OFF（セット／解除）切り替えができます。

（１）ボタンの名称とはたらき
・ボタンⒷを押して「アラームモード」状態にしてください。
※他のモードになっている場合は、一度ボタンⒶを押して、メニュー表示にしてからボタンⒷを押し、「アラームモード」状態にしてください。

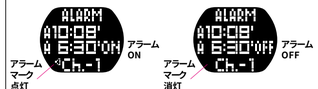
ボタンⒶ：メニュー表示への切り替え
ボタンⒷ：アラームモードへの切り替え
　　アラーム時刻修正状態の呼び出し／解除
ボタンⒸ：アラームのセット／解除
　　修正箇所の合わせ（進み）
ボタンⒹ：SMALL／LARGE表示の切り替え
　　修正箇所の選択
ボタンⒺ：アラームチャンネルの選択
　　修正箇所の合わせ（戻り）
ボタンⒻ：内部照明の点灯
　　オートパネライトのセット／解除

Ch－１～５の内で１つでもアラームをセット（ON）してあると、アラームマークが点灯します。
（２）アラームの使いかた
例：「Ch－１」のところでアラーム時刻を「午前６時30分」にセットする場合

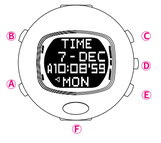
①ボタンⒺを押して「Ch－１」を呼び出します。ボタンⒷを２～３秒押し続けると、「ADJUST」文字が点滅、次に、「時」が点滅し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。
②ボタンⒹを押しますと、押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
③合わせたいところを点滅させたあと、ボタンⒸを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進みます。（反対に、ボタンⒺを押すごとに、１つずつ戻ります。）
※ボタンⒸまたはボタンⒺを押し続けると、早送りできます。
④セットが終わりましたら、ボタンⒷを押して「アラームモード」にもどしてください。
「ON」と「アラームマーク」が点灯します。押し忘れた場合でも、２～３分後には「アラームモード」へ戻ります。

（３）アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合
※「アラームモード」でボタンⒸを押すごとにセット（ON）と解除（OFF）ができます。

（アラームが鳴ります。）　　（アラームが鳴りません。）




（４）鳴っているアラームを止めるには
※アラームはセットした時間になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい場合はボタンⒶⒷⒸⒹⒺFいずれかのボタン押してください。




## ■ストップウオッチの使いかた

・計測単位：SMPTE＝1/30秒単位、最大計測時間は、９時間59分59秒29です。
・ラップ回数は、199回まで表示し、ボタン無操作で100時間以上放置された場合は自動的にストップされます。

（１）ボタンの名称とはたらき

ボタンⒶ：メニュー表示への切り替え
ボタンⒷ：リコール表示への切り替え
ボタンⒸ：ストップウオッチモードへの切り替え
　　スタート／ストップ
ボタンⒹ：SMALL／LARGE表示の切り替え
ボタンⒺ：ラップ／リセット
ボタンⒻ：内部照明の点灯
　　オートライトセット／解除

ストップウオッチ（SMPTE）
SMPTEモード表示

RESET表示

●ボタンⒸを押して「ストップウオッチモード」にしてください。
※他のモードになっていた場合は、一度ボタンⒶを押して、メニュー表示にしてからボタンⒸを押し、「ストップウオッチモード」状態にしてください。
（２）普通の使いかた（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓔ）

スタート後「RUN」表示に切り替わります。
例：８秒25
この数値は25/30秒です
（00秒に戻ります。）

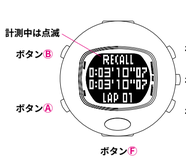
（３）時間計測を積算でおこなう場合［中断がある作業時間の計測］（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓒ……→Ⓒ→Ⓔ）

例：１分50秒15
10分00秒00
スタート後「RUN」表示に切り替わります。

※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
（４）ラップ計測とスプリット計測をおこなう場合（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓔ→Ⓔ……→Ⓒ→Ⓔ）

スタート後「RUN」表示に切り替わります。
※ラップ／スプリット計測後、約10秒間表示をホールドし、ラップ回数が点滅します。その後自動的にストップウオッチ計測表示にもどります。ラップ回数は、次のラップ回数を表示します。
※途中のラップは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、199回まで表示します。以降は200（表示：00）、201（表示：01）、202（表示：02）と順次表示します。
●計測中に他の表示（モード）に切り替えても計測は正常に継続されます。しかしこの場合、通常よりも多くの電池を消耗しますので、必要な時以外は計測を停止させて下さい。
（５）リコールの使いかた
・計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しができます。
・計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。
このストップウオッチは、最初の（１）～（199）区間までのラップタイムを自動的にメモリー（記憶）しています。メモリーしているラップタイムのリコール（呼び出し）は、次の順序でおこないます。

例：リコール（呼び出し）状態（計測終了後）




ボタンⒶ：メニューモードへの切り替え
ボタンⒷ：リコール表示への切り替え
ボタンⒸ：リコール区間の選択（進み）
ボタンⒹ：SMALL／LARGE表示の切り替え
ボタンⒺ：リコール区間の選択（戻り）
ボタンⒻ：内部照明の点灯
　　オートパネライトのセット／解除

（計測を終了してからリコールする場合）
・ボタンⒷを押してリコール表示にします。最初の［１］区間のラップタイムが表示されます。
（計測中にリコールする場合）
・ボタンⒷを押してリコール表示にします。最新区間のラップタイムが表示されます。
※ボタンⒸを１回押すと次のデータを参照できます。また、ボタンⒺを１回押すと前のデータが参照できます。
※SMALL表示のときは、最下段にはラップ数が表示されます。
※LARGE表示のときは、スプリットタイムが表示され、スプリット数が表示されます。
※測定結果がないときには「NO DATA」と表示されます。

## ■ワールドタイムの使いかた

・世界38都市の国番号と現在時刻を表示します。
・LARGE表示でもSMALL表示と同様に最下段に世界の都市名が右から左へスクロール表示されます。

（１）ボタンの名称とはたらき

ボタンⒶ：メニューモードへの切り替え
ボタンⒷ：サマータイム有／無の選択
ボタンⒸ：都市選択
ボタンⒹ：SMALL／LARGE表示の選択
ボタンⒺ：都市選択
ボタンⒻ：内部照明の点灯
　　オートパネライトのON／OFF

WORLDモード表示

※サマータイムを採用している国は、ボタンⒷを押し、「DST」表示をしてください。
※表示をLARGEに設定したときは、「DST」は表示されません。

都市名と国コード一覧　　1998年４月現在

| 都市略号 | 都市名 | 都市名（日本語） | 国名<br>または地域名 | 国名または<br>地域名（日本語） | 国コード | GMTとの時差 | サマータイム有 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| GMT | GREENWICH | グリニッジ | UNITED KINGDOM | イギリス | 44 | +0 | |
| LON | LONDON | ロンドン | UNITED KINGDOM | イギリス | 44 | +0 | ● |
| PAR | PARIS | パリ | FRANCE | フランス | 33 | +1 | ● |
| ROM | ROME | ローマ | ITALY | イタリア | 39 | +1 | ● |
| BER | BERLIN | ベルリン | GERMANY | ドイツ | 49 | +1 | ● |
| ATH | ATHENS | アテネ | GREECE | ギリシャ | 30 | +2 | ● |
| CAI | CAIRO | カイロ | EGYPT | エジプト | 20 | +2 | ● |
| JRS | JERUSALEM | エルサレム | ISRAEL | イスラエル | 972 | +2 | ● |
| MOW | MOSCOW | モスクワ | RUSSIAN FEDERATION | ロシア連邦 | 7 | +3 | ● |
| JED | JEDDAH | ジェッダ | SAUDI ARABIA | サウジアラビア | 966 | +3 | |
| RUH | RIYADH | リヤド | SAUDI ARABIA | サウジアラビア | 966 | +3 | |
| THR | TEHRAN | テヘラン | IRAN | イラン | 98 | +3.5 | ● |
| DXB | DUBAI | ドバイ | UNITED ARAB EMIRATES | アラブ首長国連邦 | 971 | +4 | |
| KBL | KABUL | カブール | AFGHANISTAN | アフガニスタン | 93 | +4.5 | |
| KHI | KARACHI | カラチ | PAKISTAN | パキスタン | 92 | +5 | |
| DEL | DELHI | デリー | INDIA | インド | 91 | +5.5 | |
| DAC | DHAKA | ダッカ | BANGLADESH | バングラディシュ | 880 | +6 | |
| RGN | YANGON | ヤンゴン | MYANMAR | ミャンマー | 95 | +6.5 | |
| BKK | BANGKOK | バンコク | THAILAND | タイ | 66 | +7 | |
| HKG | HONG KONG | 香港 | HONG KONG | 香港 | 852 | +8 | |
| BJS | BEIJING | 北京 | CHINA | 中国 | 86 | +8 | |
| TYO | TOKYO | 東京 | JAPAN | 日本 | 81 | +9 | |
| ADL | ADELAIDE | アデレード | AUSTRALIA | オーストラリア | 61 | +9.5 | ● |
| SYD | SYDNEY | シドニー | AUSTRALIA | オーストラリア | 61 | +10 | ● |
| NOU | NOUMEA | ヌメア | NEW CALEDONIA | ニューカレドニア | 687 | +11 | |
| WLG | WELLINGTON | ウェリントン | NEW ZEALAND | ニュージーランド | 64 | +12 | ● |
| HNL | HONOLULU | ホノルル | UNITED STATES | アメリカ | 1 | −10 | |
| ANC | ANCHORAGE | アンカレッジ | UNITED STATES | アメリカ | 1 | −9 | ● |
| YVR | VANCOUVER | バンクーバー | CANADA | カナダ | 1 | −8 | ● |
| LAX | LOS ANGELES | ロサンゼルス | UNITED STATES | アメリカ | 1 | −8 | ● |
| DEN | DENVER | デンバー | UNITED STATES | アメリカ | 1 | −7 | ● |
| CHI | CHICAGO | シカゴ | UNITED STATES | アメリカ | 1 | −6 | ● |
| NYC | NEW YORK | ニューヨーク | UNITED STATES | アメリカ | 1 | −5 | ● |
| YMQ | MONTREAL | モントリオール | CANADA | カナダ | 1 | −5 | ● |
| CCS | CARACAS | カラカス | VENEZUELA | ベネズエラ | 58 | −4 | |
| BUE | BUENOS AIRES | ブエノスアイレス | ARGENTINA | アルゼンチン | 54 | −3 | |
| RIO | RIO DE JANEIRO | リオデジャネイロ | BRAZIL | ブラジル | 55 | −3 | ● |
| PDL | AZORES IS | アゾレス諸島 | AZORES ISLANDS | アゾレス諸島 | 351 | −1 | ● |

※各国の時差、およびサマータイムは国の都合により変更する場合があります。

## ■メトロノーム（BPM）の使いかた

・30～250BPM（テンポ）の設定ができます。
・７種類のBEAT（拍子）から選択できます。

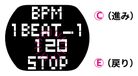
（１）ボタンの名称とはたらき

ボタンⒶ：メニューモードへの切り替え
ボタンⒷ：メトロノーム（BPM）報音の
　　スタート／ストップ
ボタンⒸ：テンポ／拍子の合わせ（進み）
ボタンⒹ：メトロノーム（BPM）への切り替え
　　テンポ／拍子の切り替え
ボタンⒺ：テンポ／拍子の合わせ（戻り）
ボタンⒻ：内部照明の選択
　　オートパネライトのセット／解除

●ボタンⒹを押して「メトロノーム（BPM）モード」状態にしてください。
※他のモードになっていた場合は、一度ボタンⒶを押して、メニュー表示にしてからボタンⒹを押し、「メトロノーム（BPM）モード」状態にしてください。
（２）メトロノーム（BPM）の使いかた
ボタンⒹを押すごとにBPMとBEAT表示が交互に切り替わります。
※「BPMとBEAT設定」は、PLAY中でも設定できます。
例：BPM（テンポ）を120にセット、BEAT（拍子）を４拍子にセットした場合

①メニュー表示からボタンⒹを押して「メトロノーム（BPM）モード」状態にしてください。

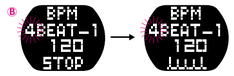
②ボタンⒸまたはⒺを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進み（戻り）ます。
※ボタンⒸまたはⒺを押し続けると、早送りできます。




③ボタンⒹを押して、BEAT表示にしてください。

④ボタンⒸまたはⒺを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進み（戻り）ます。
※ボタンⒸまたはⒺを押し続けると、早送りできます。

⑤セットが終わりましたらボタンⒷを押してスタートします。




※メトロノームPLAY中に内部照明を点灯したときは、約３秒間音がでません。

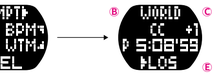
（２）ワールドタイムの使いかた
・ボタンⒺを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。
※他のモードになっている場合は、一度ボタンⒶを押してメニュー表示にしてからボタンⒺを押し、「ワールドタイムモード」状態にしてください。

例：東京が午前10時８分のときロサンゼルスの国番号と現在時刻を調べる場合

①現在時刻を確認します。

東京
午前10時８分

②メニュー表示にします。




③ボタンⒺを押して、「ワールドタイムモード」状態にします。
ボタンⒸまたはボタンⒺを押して都市名「ロサンゼルス」に合わせてください。




ロサンゼルス
午後５時８分
国コード：１

※時差およびサマータイムについては、「都市名と国コード一覧」をご参照ください。
※サマータイム期間中は、ボタンⒷを押し、DST（サマータイム）に設定してください。

## ■電池交換後のお願い（システムリセット）

・電池交換後や万一異常な表示（読めない表示など）をした場合、以下の操作を行ってください。
時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。
●システムリセットのしかた
・ⒶⒷⒸⒹⒺ４つのボタンを同時に２～３秒間押し続けてください。表示が消え、ボタンを離すと、メニュー表示になります。ボタンⒶを押すと「TIME 1-JAN A12:00'00FRI」の表示になります。
ご使用前に下記の順番に操作してください。
①時刻・カレンダーの合わせ
②アラームの設定等
それぞれの項目を参照ください。

## ■コントラストの調節のしかた

・表示のコントラスト（明暗）の調節ができます。
①「時刻・カレンダーモード」のとき、ボタンⒸを約５～６秒間押し続けると、「コントラスト調節」状態になります。
コントラストは０から15まで設定でき、数字が増えるごとにコントラストが強くなります。数字が減るごとにコントラストは弱くなり、「０」に設定すると表示が読めなくなります。
②ボタンⒸまたはⒺを押してコントラストを調節します。
ボタンⒸを押すごとにコントラストのレベルが１つずつ増えます。（「15」の次は「０」になります。）「０」のとき、表示が読めなくなりますが、故障ではありません。）ボタンⒺを押すごとにコントラストのレベルが１つずつ減ります。
③調節がおわりましたら、ボタンⒷを押して、「時刻・カレンダーモード」に戻してください。

コントラストレベル「10」
＊初期値は「10」に設定されています。